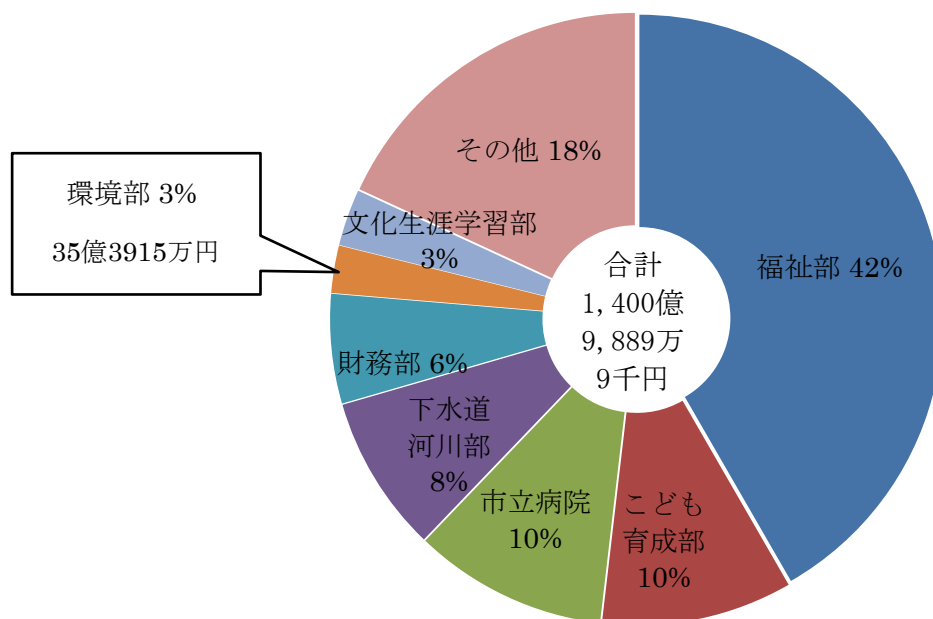


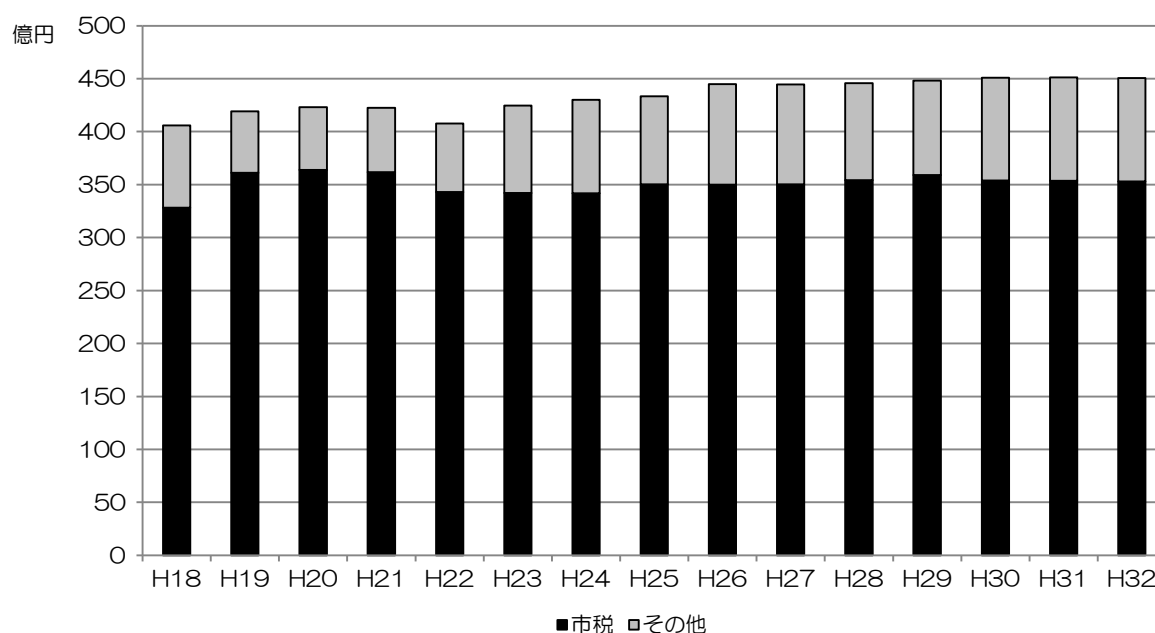
◆市財政及び基金について

ごみ処理には毎年30億円以上の経費が掛かっています。しかし、市の財政状況を見ると、ここ数年市税収入は頭打ちで、今後も大幅な伸びは見込めません。さらには、超高齢社会を迎えるなかで福祉事業に掛かる経費である扶助費の増加が著しい状況です。一方、ごみ処理施設の整備等のために設けた基金は、資源物売却単価の値下がりもあり、将来の施設整備を賄えるほどの金額になっていないのが現状です。

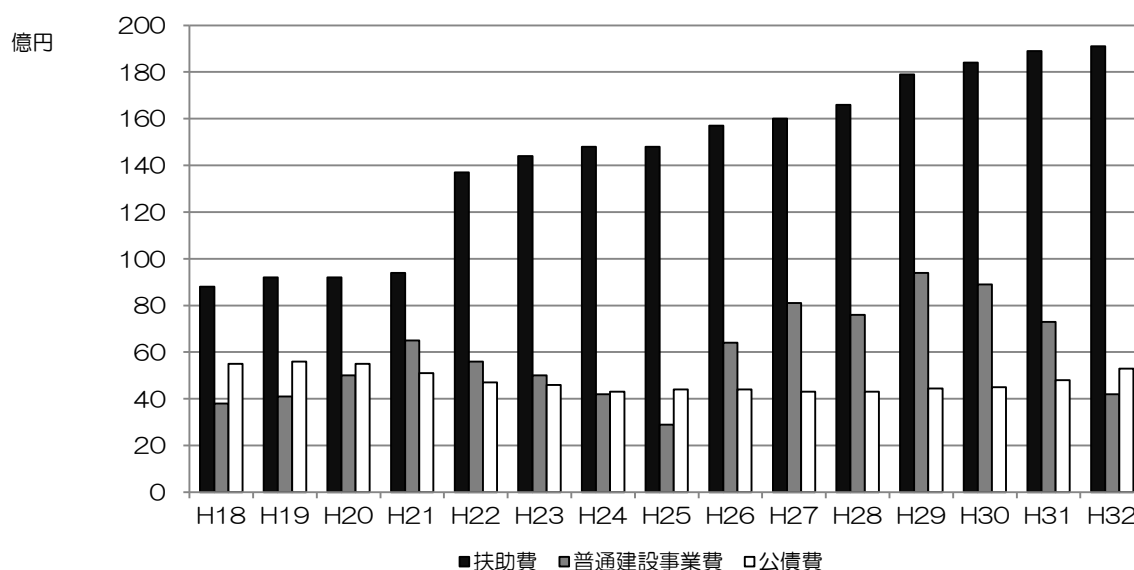
【図1】平成30年度当初予算編成



【図2】【一般会計の一般財源(市税収入等)の推移及び見込み】



【図 3】 【性質別経費の推移及び見込み】



【表 1】 【ごみ減量化・資源化基金】

単位：円

	積立金	取崩金	年度末残高	基金の使途
平成 5 年度～21 年度			587, 403, 799	—
平成 22 年度	92, 085, 042	59, 327, 000	620, 161, 841	・寒川広域リサイクルセンター建設費用
平成 23 年度	97, 935, 322	445, 896, 000	272, 201, 163	・寒川広域リサイクルセンター建設費用
平成 24 年度	101, 068, 961	144, 532, 500	228, 737, 624	・選別処理施設の解体及び土壌汚染対策
平成 25 年度	243, 659, 258	0	472, 396, 882	—
平成 26 年度	57, 588, 000	100, 000, 000	429, 984, 882	・環境事業センター修繕費等
平成 27 年度	18, 184, 000	20, 513, 000	427, 655, 882	・焼却処理施設基幹的設備改良事業費 ・粗大ごみ処理施設修繕費
平成 28 年度	1, 168, 044	71, 095, 880	357, 728, 046	・焼却処理施設基幹的設備改良事業費 ・ごみ収集車蛍光管収集用改造費
平成 29 年度	46, 467, 000	73, 697, 986	330, 497, 060	・焼却処理施設基幹的設備改良事業費

※積立金の原資は、有価物売却代の一部、預金利子及び寄附金

